

北翔大学大学院で学ぶみなさんへ

～学長からのメッセージ～

北翔大学

学 長 佐々木 浩 子 SASAKI Hiroko



北翔大学大学院は、2001年に人間福祉学研究科修士課程を開学してから今年で25年目を迎えます。2021年4月には、生涯スポーツ学研究科に博士後期課程を設置し、2024年3月には、博士号取得者を社会に送り出しました。建学の精神にある「自立できる社会人の育成」を基本にした高等教育機関で学んだ300名を超える先輩たちが、北海道はもとより、日本全国の各地で研究者、あるいは高度専門職業人として活躍しています。こうした本学大学院のこれまでの実績に対して、地域社会からは多くの信頼と期待が寄せられています。

本学大学院は、臨床心理学専攻を有する「臨床心理学研究科」と生涯学習学専攻を有する「生涯学習学研究科」、そして生涯スポーツ学専攻を有する「生涯スポーツ学研究科」で構成されています。3研究科とも、高度な専門性を有する専門職業人、あるいは研究者として社会で活躍できる深い教養と高度な研究能力を身につけることができる教育内容でカリキュラムが編成されています。

大学院は、これまで皆さんが大学生活でまとめてきた研究課題をさらに深化させ、研究者として社会の発展に寄与する能力を身につけるために学修・研究する場です。また、社会人として入学してきた人にとっては、自身の職業を通して遭遇した課題を原理・原則に遡って解明するための学修・研究する機会となります。

現代社会では、グローバル化、少子高齢化、メンタルヘルス問題の深刻化などの他に、急速に進展するデジタルトランスフォーメーション（DX）によって、複雑で相互に関連する課題が同時多発的に生じています。こうした課題に向き合うためには、これまで以上に学際的な視野と科学的根拠に基づく分析力が求められます。さらに、生成AIの発展により、情報収集・整理・分析の手法は大きく変化しており、研究や実務の現場では、AIを適切に活用しながらも、結果を批判的に検討し、倫理的に判断し、社会にとって望ましい形へ統合する人としての力が不可欠です。そのためにも、自身の研究テーマに関連する多くの先達の研究成果に触れ、その価値を正しく理解するとともに、新たな課題に挑戦する姿勢を大切にしてほしいと願っています。

この「学生便覧」は、皆さんが大学院生活を送る上での手引きであり、社会に出てからも皆さんの学修の履歴を確認するためのものでもあります。どのような科目を履修し、社会でどのように活躍するのか、どのような学生生活を送るのか、この便覧をもとにして学修計画を練り上げてください。

最後に、本学は「愛と和と英知」を基本理念として、「よりそう」ことを重視した教育活動を展開しています。これは学生にだけ求めるものではなく、教職員一人ひとりにとっても大切な理念です。その理念を共有して、皆さん一人ひとりが夢や希望の実現に向けて実りある大学院生活を送ることを支援したいと考えています。